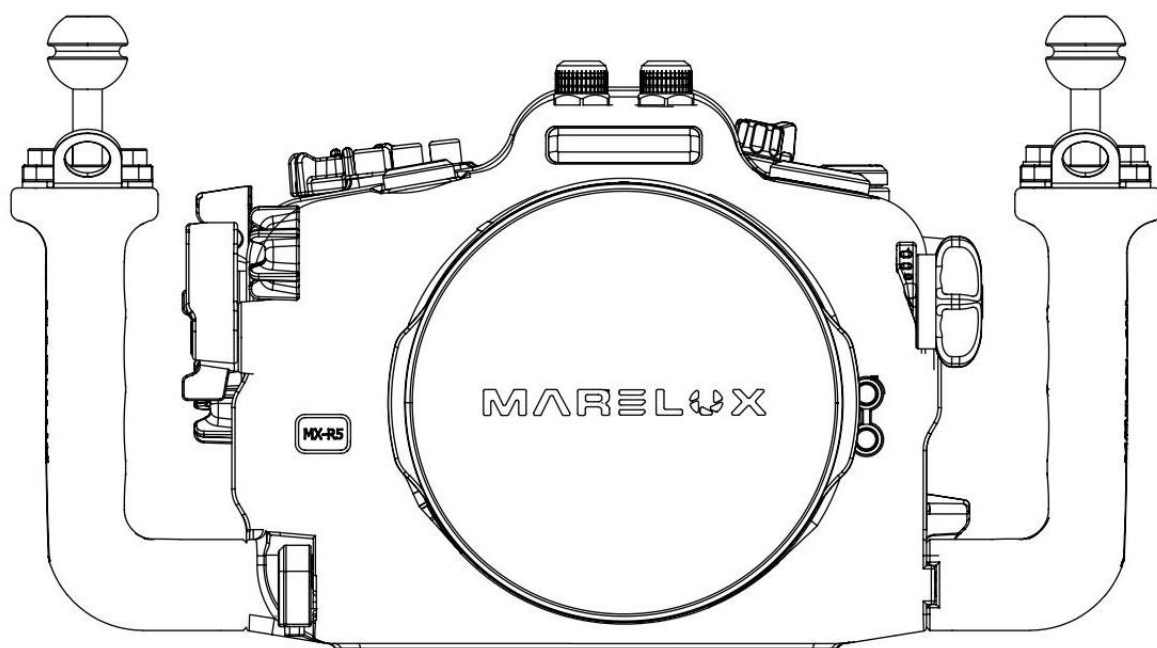


MX-R5

CANON EOS R5 ミラーレスカメラ専用



取扱説明書

製品をご使用になる前に、本取扱説明書を必ずよくお読みいただき、内容を十分に理解した上で正しくお使いください。

<https://marelux.co/>

重要なお知らせ

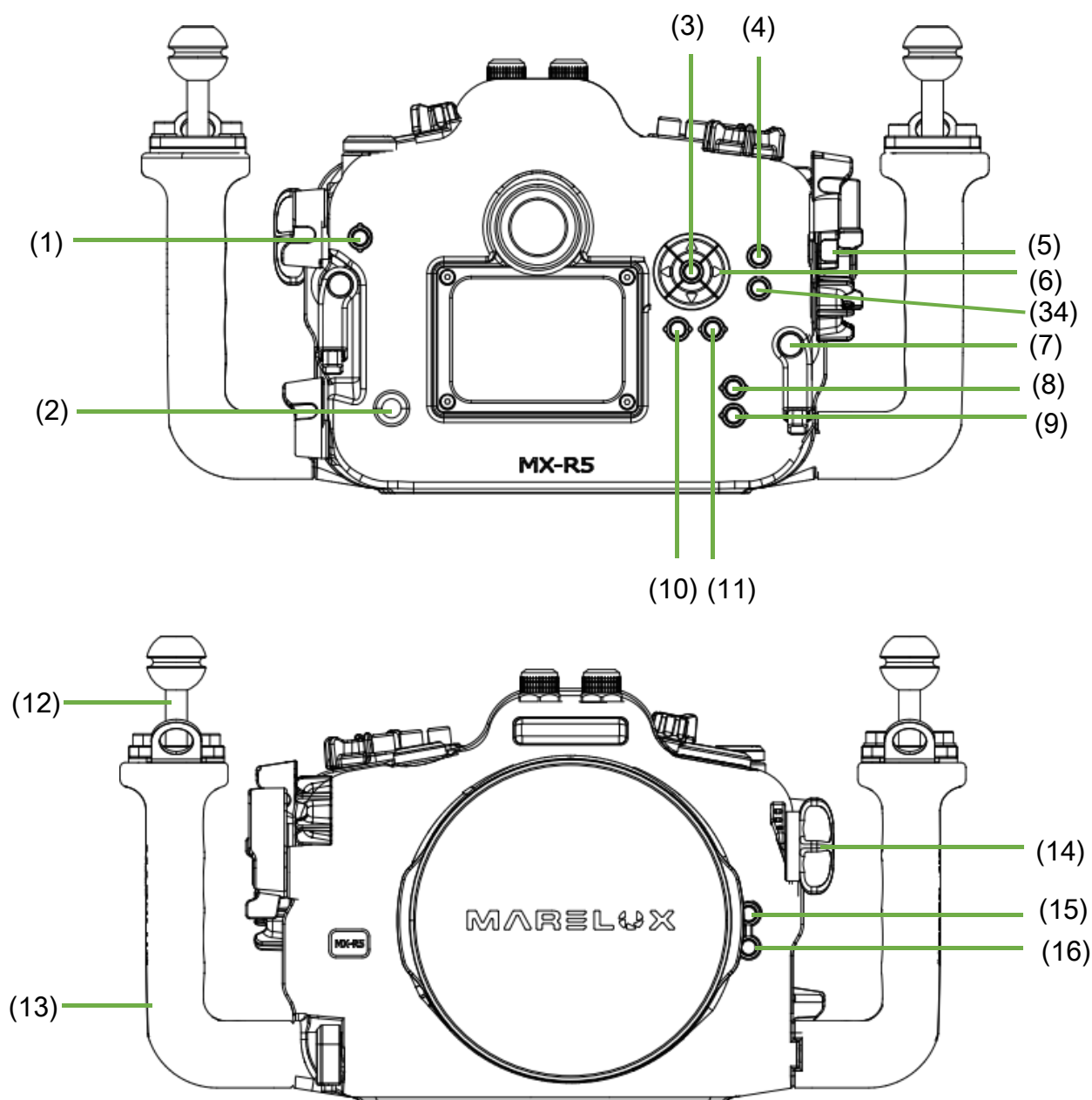
1. 本製品(Marelux製ハウジング本体)は、エクステンションリング、ドームポート、マクロポートなど、Marelux製の他のパーツ・アクセサリと組み合わせてご使用ください。他社製のパーツやアクセサリを使用すると、故障や破損の原因となることがあります。
2. 本製品は水深100m(330ft)までの使用を想定して設計されています。水深100m(330ft)を超えると、破損や浸水の原因となりますのでご注意ください。
3. 付属のグリスは食用ではありません。Marelux製品のOリングにのみご使用ください(詳細はOリングに関する注意事項をご覧ください)。
4. 浸水が確認された場合は、直ちに使用を中止してください。
5. ハウジング本体のパーツをご自身で分解しないでください。修理はMarelux正規サービスセンターにて行ってください。
6. ハウジング本体は必ず安定した場所に置き、落下を防いでください。強い衝撃や衝突を与えると破損の原因となります。
7. 直射日光や高温環境に長時間さらさないでください。
8. 湿気の多い場所や砂の多い場所ではハウジングを開けないでください。電子回路の故障や、異物混入による浸水の原因となります。
9. ハウジング本体を開ける前、またはレンズ交換のためエクステンションリングやポートを取り外す前に、ハウジング表面の水滴や汚れを拭き取り、内部への浸水・異物混入を防いでください。
10. ハウジングおよび付属品は、小さな部品やグリスの誤飲を防ぐため、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
11. Marelux純正のグリス以外、化学薬品・化粧品・溶剤などをハウジング表面や付属品に使用しないでください。
12. 長期間使用しない場合は、再使用前に本取扱説明書に従ってハウジングおよび付属品を入念に点検してください。
13. カメラやメモリーカード内の写真・動画などのデータの消失・破損について、Mareluxは責任を負いません。また、本取扱説明書の内容に従わずにMarelux製品を使用したことによるカメラ・レンズ・その他機材の破損についても、Mareluxは責任を負いません。本取扱説明書の記載内容に誤りや不備があった場合も、Mareluxは責任を負いかねます。

Oリングに関する注意事項

1. Oリングに傷、亀裂、変形がないか必ず入念に確認してください。砂、ほこり、毛髪などの異物が付着している場合は取り除いてください。
2. Marelux製Oリングのメンテナンスには、Marelux純正のグリスのみをご使用ください。他社製のグリスや化学薬品を使用すると、Oリングの不具合や破損、ひいてはハウジングの浸水につながるおそれがあります。
3. 傷、亀裂、変形が見られる場合はOリングを交換してください。交換の際は、先の尖った工具の使用を避けてください。
4. Oリングの状態に問題がないことを確認した上で、指を使って薄くグリスを塗布してください。グリスを塗りすぎると、ほこりや砂、毛髪などの異物が付着しやすくなりますのでご注意ください。
5. Oリングをねじれないようにまっすぐハウジングの溝にはめ込んでください。
6. ハウジングを使用するたびに、Oリングを取り外して点検することをおすすめします。
7. 長期間使用しない場合は、Oリングを取り外し、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。圧力を加えたり、ねじったりしないでください。
8. Oリングを過度に伸ばさないでください。
9. Oリングの推奨使用期間は通常1年ですが、使用頻度やメンテナンス・保管状況によって異なります。点検時に不具合が見つかった場合は、その都度交換してください。

各部名称と機能

前面+背面 側面図



(1) RATE

(2) Alarm Light

(3) OK

(4) Auto-Exposure Lock

(5) Quick Menu

(6) Arrow Button

(7) Security Lock

(8) SET

(9) Delete

(10) INFO

(11) Enlarge

(12) Ball Mount

(13) Handle

(14) Zoom Dial

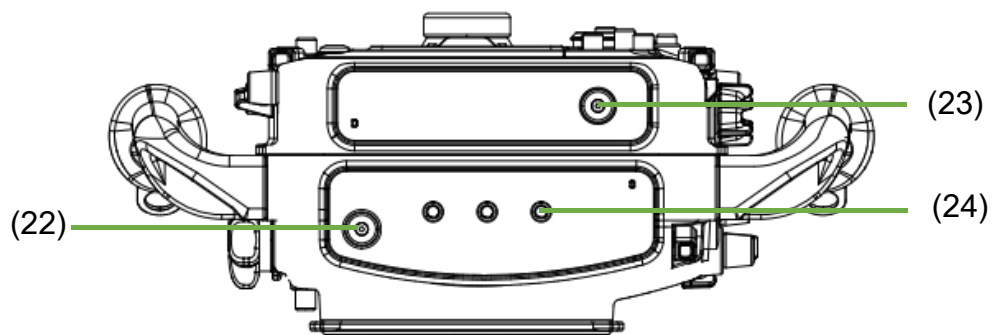
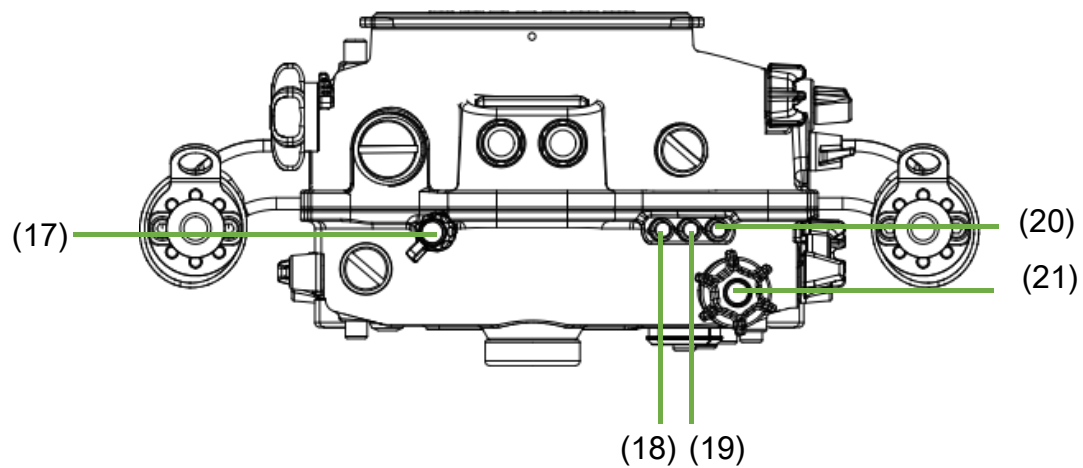
(15) RF Lens release

(16) EF Lens release

(34) Auto Focus Point Selection

各部名称と機能

上+下 側面図



(17) ON/OFF

(18) Speed Control

(19) MODE

(20) LOCK

(21) Rear Dial

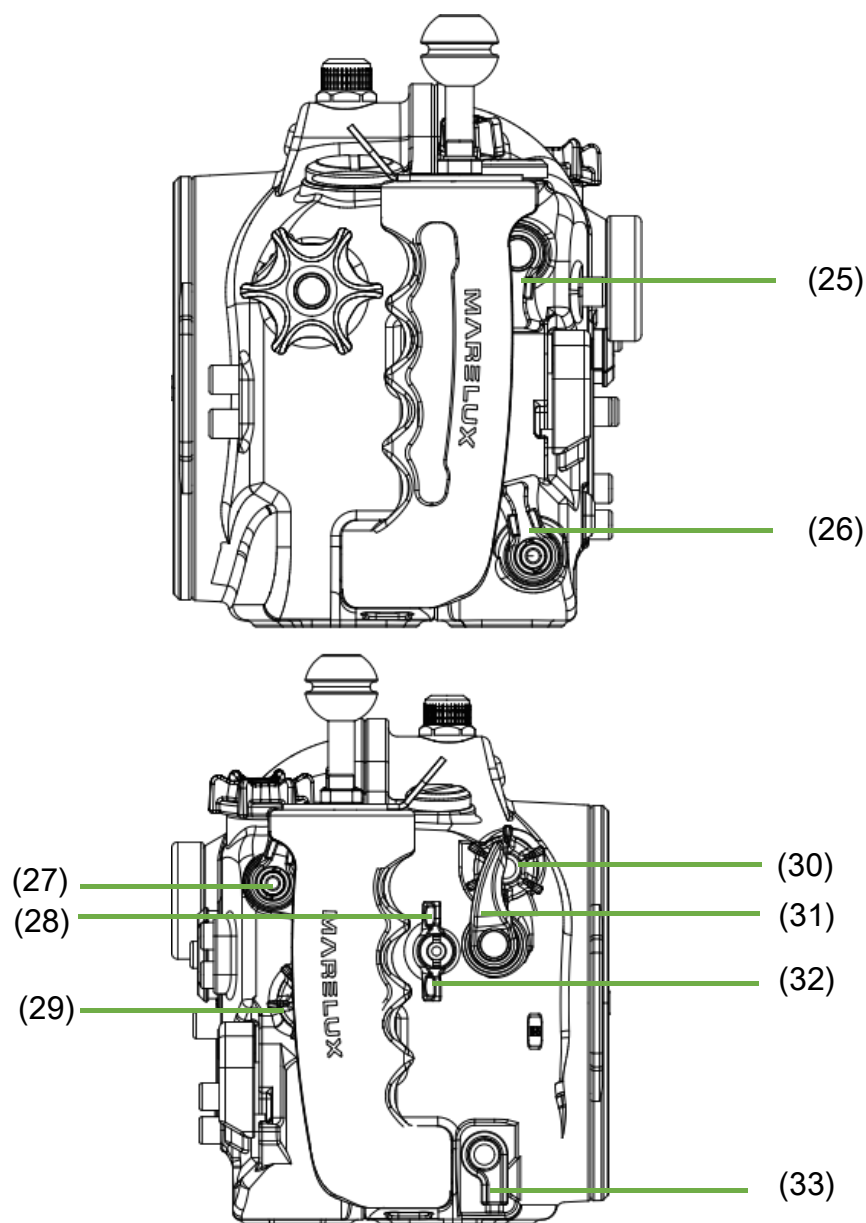
(22) Sacrificial Anode

(23) Sacrificial Anode

(24) 1-20 UNC Screw Hole

各部名称と機能

左+右 側面図



(25) MENU

(26) Replay

(27) AF-ON

(28) M-Fn

(29) Rear Dial

(30) Front Dial

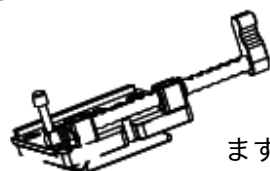
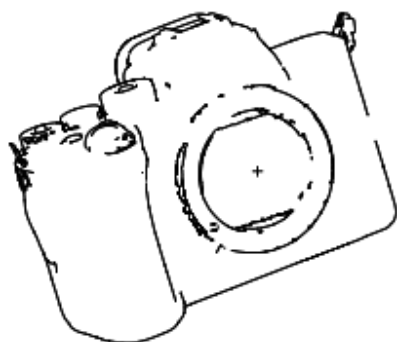
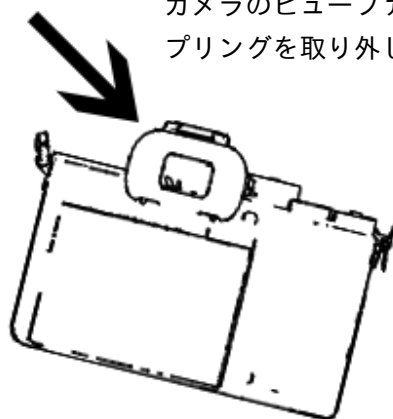
(31) Shutter

(32) REC

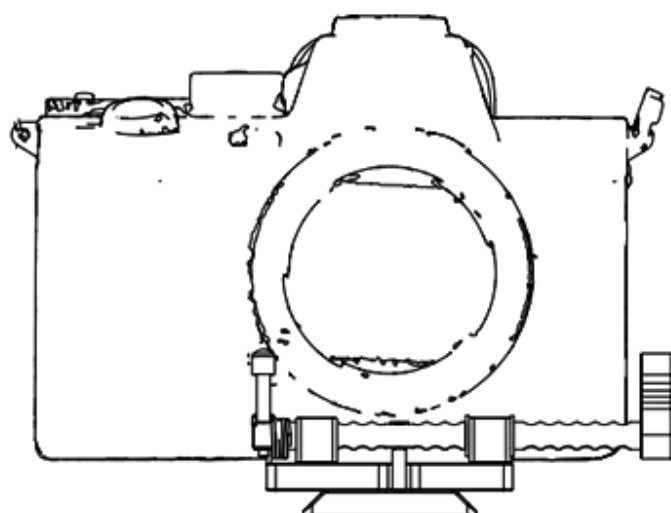
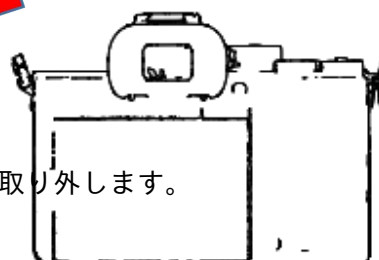
(33) LOCKOPEN

カメラの取り付け

カメラのビューファインダーに付いている粘着テープリングを取り外します。

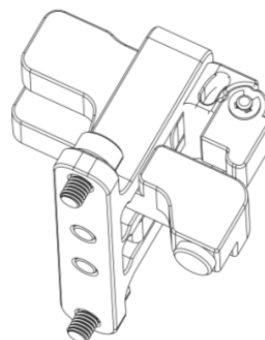
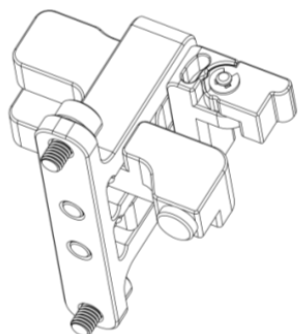


まずベースプレートを取り外します。



ベースプレートのネジを、カメラ底面のネジ穴に合わせて締め付けます。

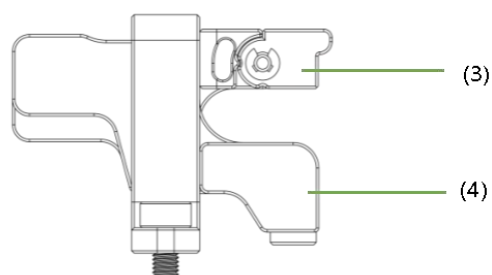
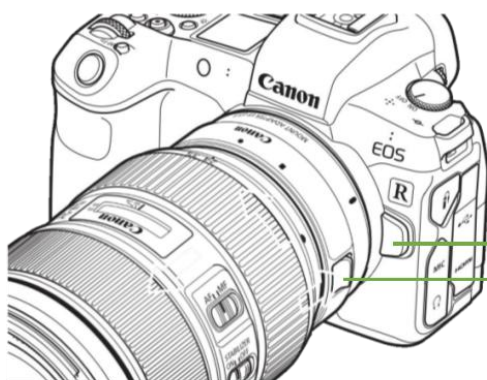
RF & EFレンズ用ベースプレートの取り付け



EFレンズ装着時のベースプレート位置

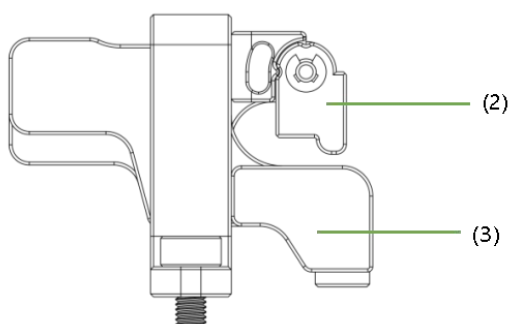
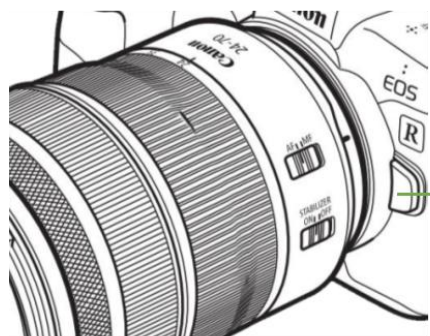
RFレンズ装着時のベースプレート位置

EFレンズの取り付け



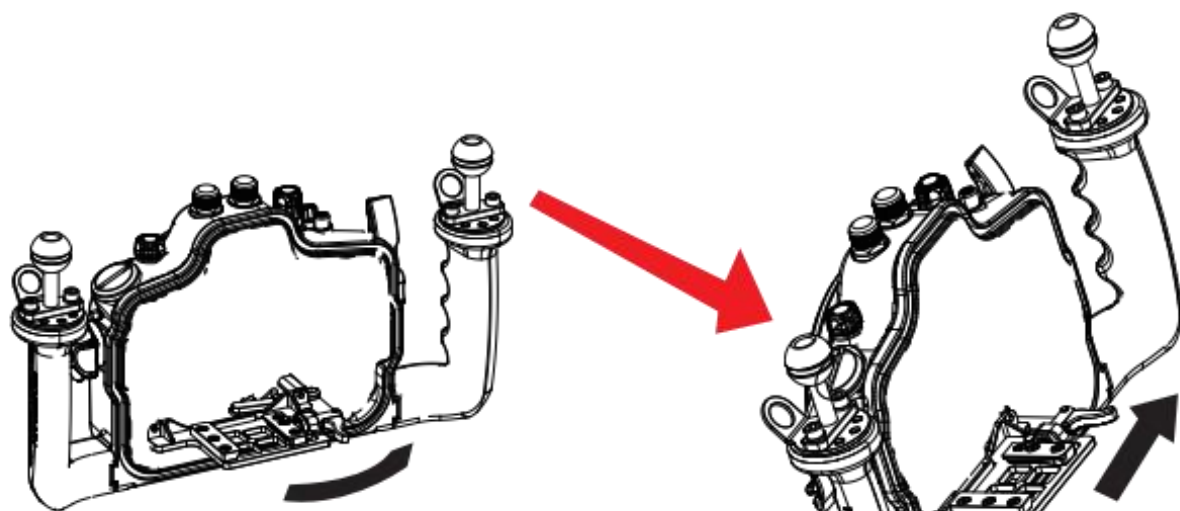
レバー (3) を上向きに回し (図2参照)、RFレンズリリースボタン (1) をベースプレートのレバー (4) に、アダプターのリリースボタン (2) をベースプレートのレバー (3) に合わせます。

RFレンズの取り付け

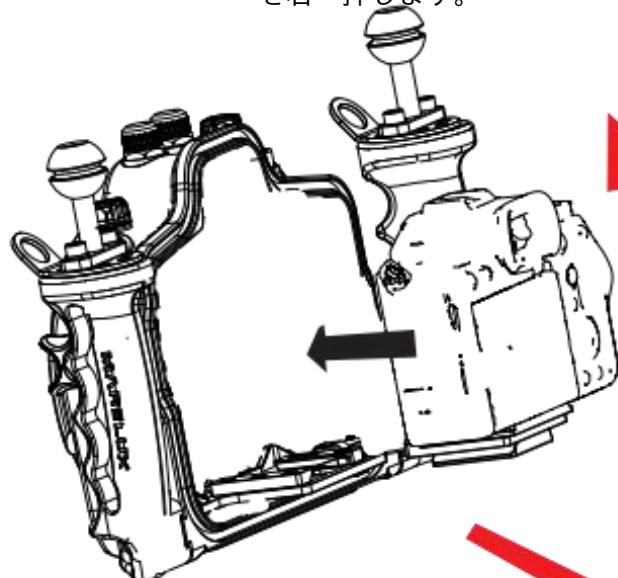


レバー (2) を下向きに回して閉じます (図参照)。RFリリースボタン (1) をベースプレートのレバー (3) に合わせます。

カメラの取り付け

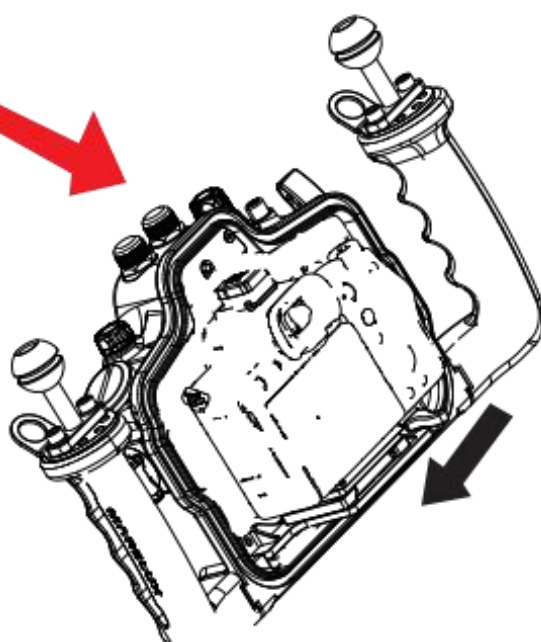


ハウジングマウントベース右側のハンドルを右へ押します。

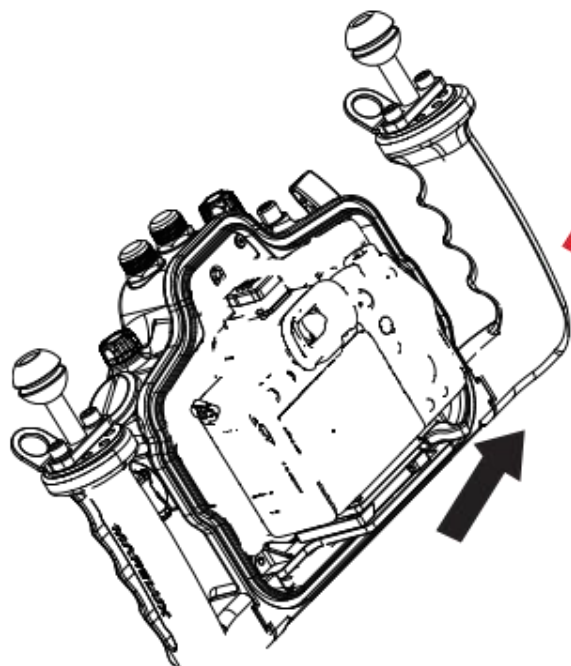


カメラ底面のベースプレートを実装ベースのスロットに合わせ、カメラを押し込みます。

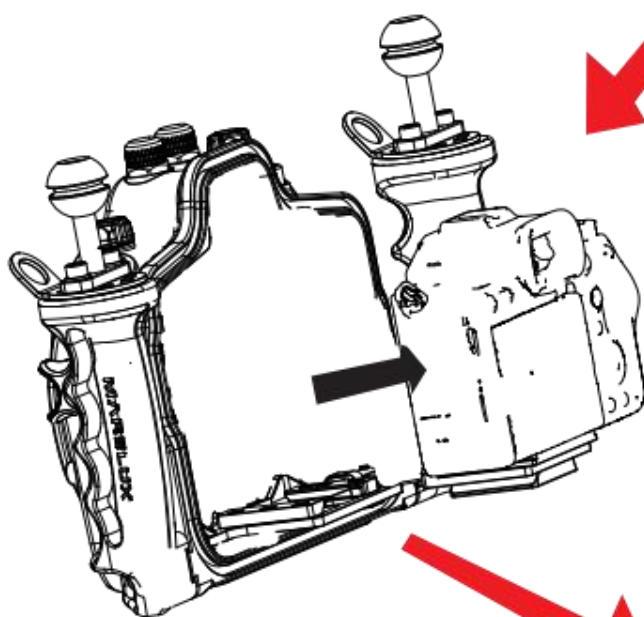
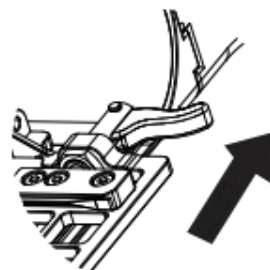
ハンドルを左へ押して、ベースプレート付きカメラを実装ベースに固定します。



カメラの取り外し

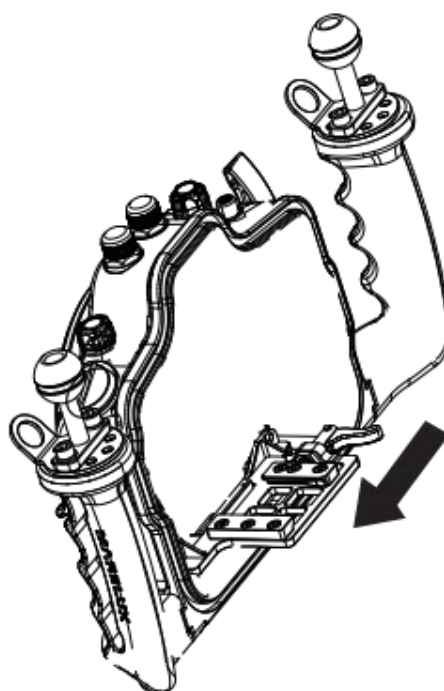


ハンドルを右へ押して、カメラをマウントベースから取り外します。



カメラをマウントベースから引き出します。

ハンドルを左に戻してロックします。

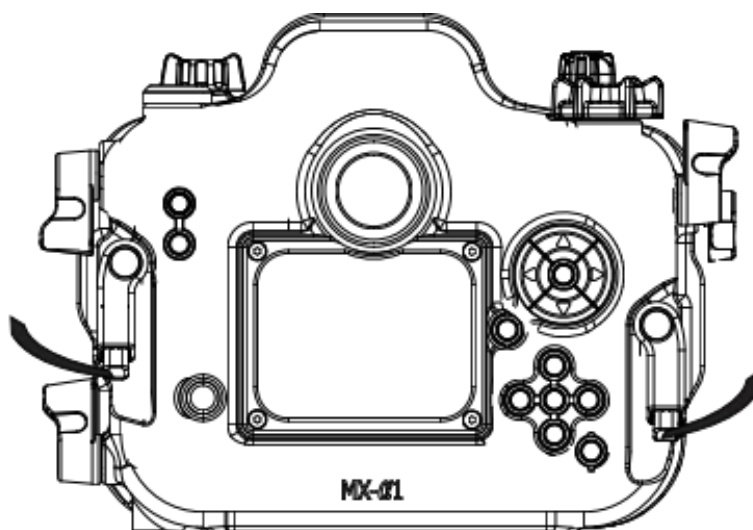


ハウジングを開ける

注意:

1. ハウジングを開ける前に、平らな場所に置いてください。
2. バキュームバルブの赤いノブを引き上げ、ハウジング内外の気圧差を解消してください。

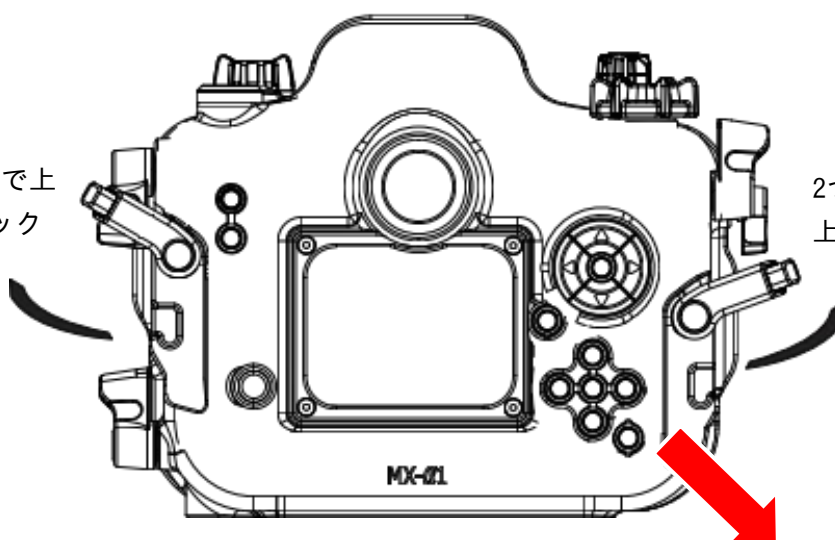
両側のセキュリティ
ロックのボタンを同
時に押します



両側のセキュリティロック
のボタンを同時に押します

ハウジングロックを外側に回し
ます。

2つのノブを端まで上
に押し上げてロック
を解除します



2つのノブを端まで上に押し
上げてロックを解除します

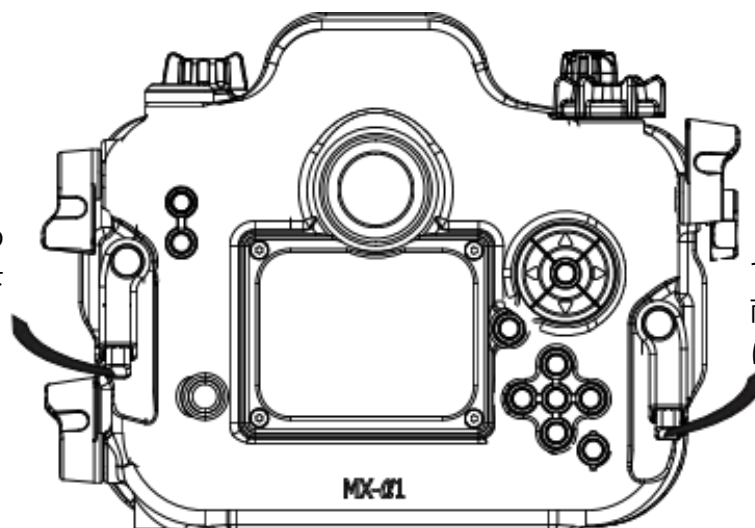
両手でハウジングの後カバーと前カバ
ーを分離します。

ハウジングを閉じる

注意:

1. ハウジングを閉じる前に、Oリングを清掃してグリスを塗布してください。
2. 異物が挟まっていないことを確認し、前カバーと後カバーの縁を合わせてください。

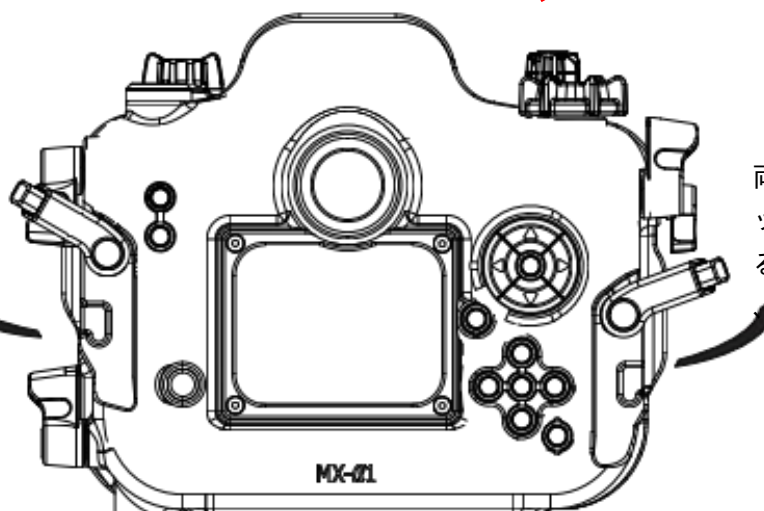
セキュリティロックの
両方のノブを端まで下
に押します。



セキュリティロックの
両方のノブを端まで下
に押します。

ハウジングロックを内側に回し
ます。

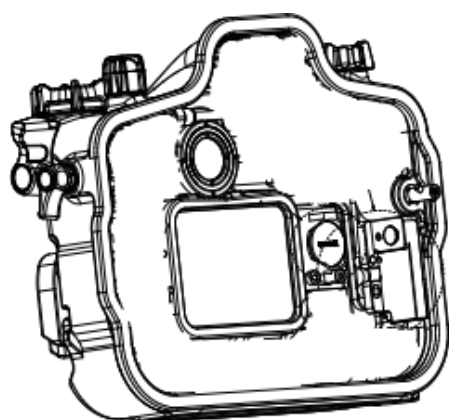
両側のセキュリティロ
ックをカチッと音がす
るまで内側へ押し込み
、ロックします。



両側のセキュリティロ
ックをカチッと音がす
るまで内側へ押し込み
、ロックします。

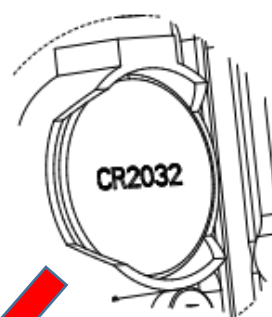
ロックが所定の位置に収まるまで行い
ます。

水分インジケーターと漏水検知アラームの設定

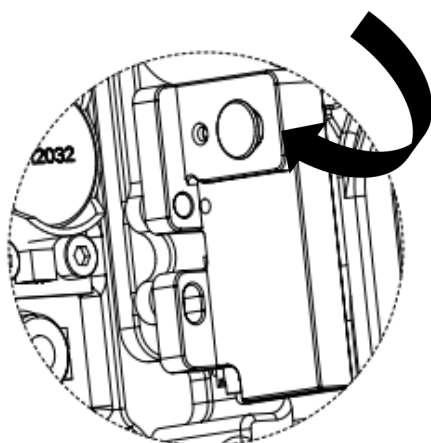


電池の絶縁フィルムを取り除きます。

電池を底に触れるまで、そっと押し込みます。



赤いオン/オフボタンを1秒間押して、漏水検知器の電源を入れます。



インジケーターが緑色に2回点滅した後(図1)、黄色の点滅を続けます(図2)。

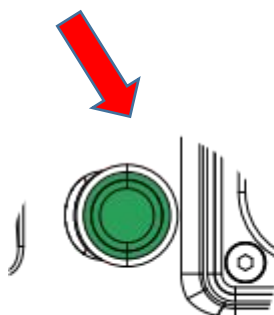


図1

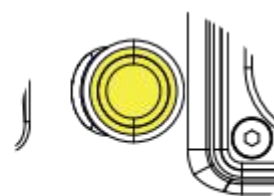
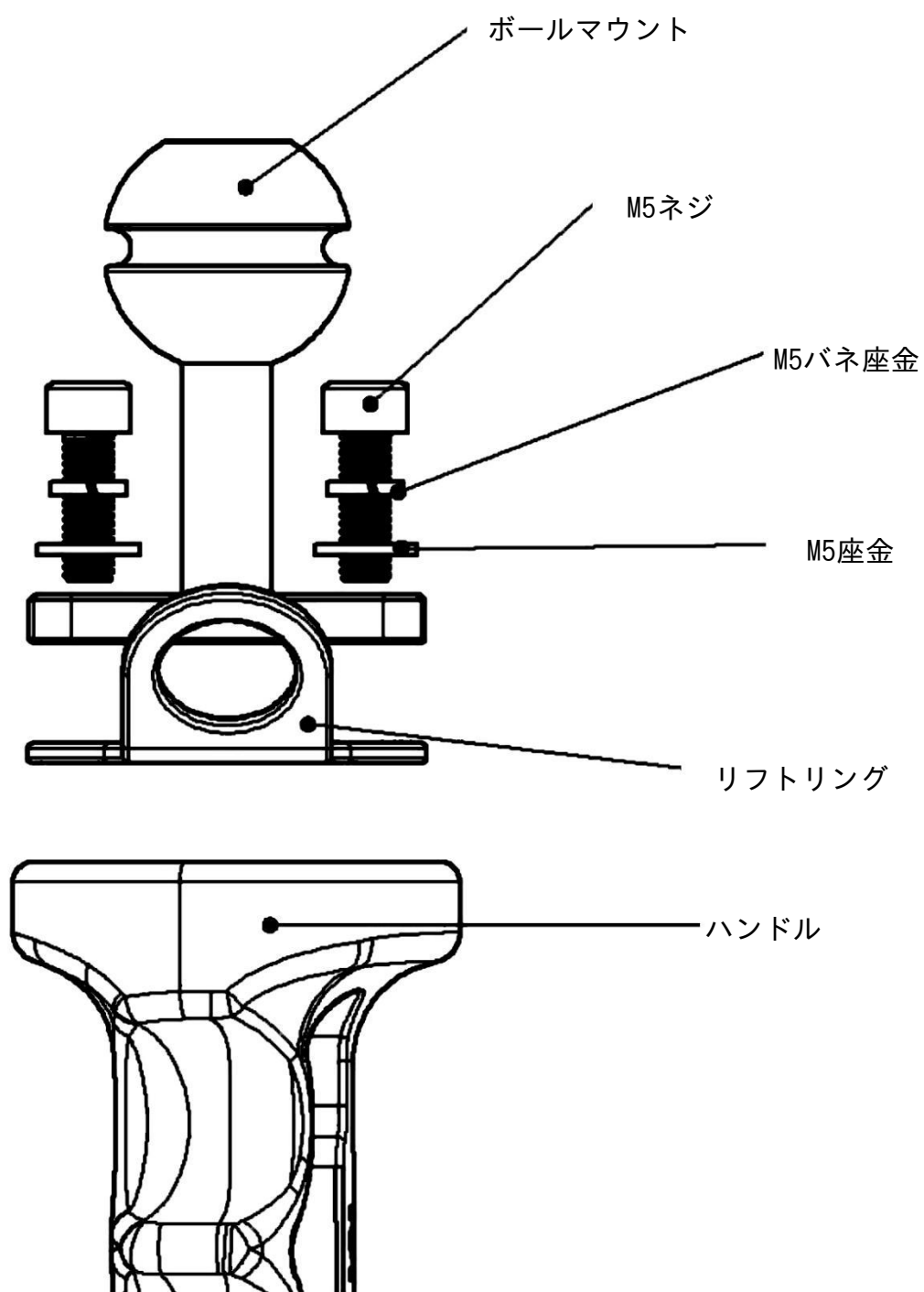


図2

マウントボール取り付け図



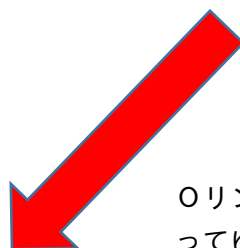
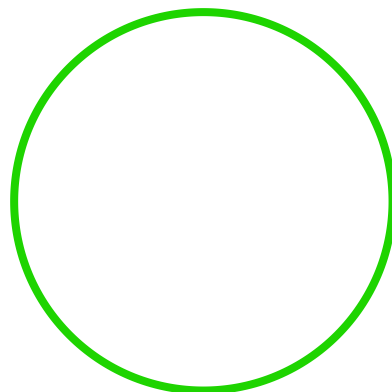
Oリングの取り付け

注意:

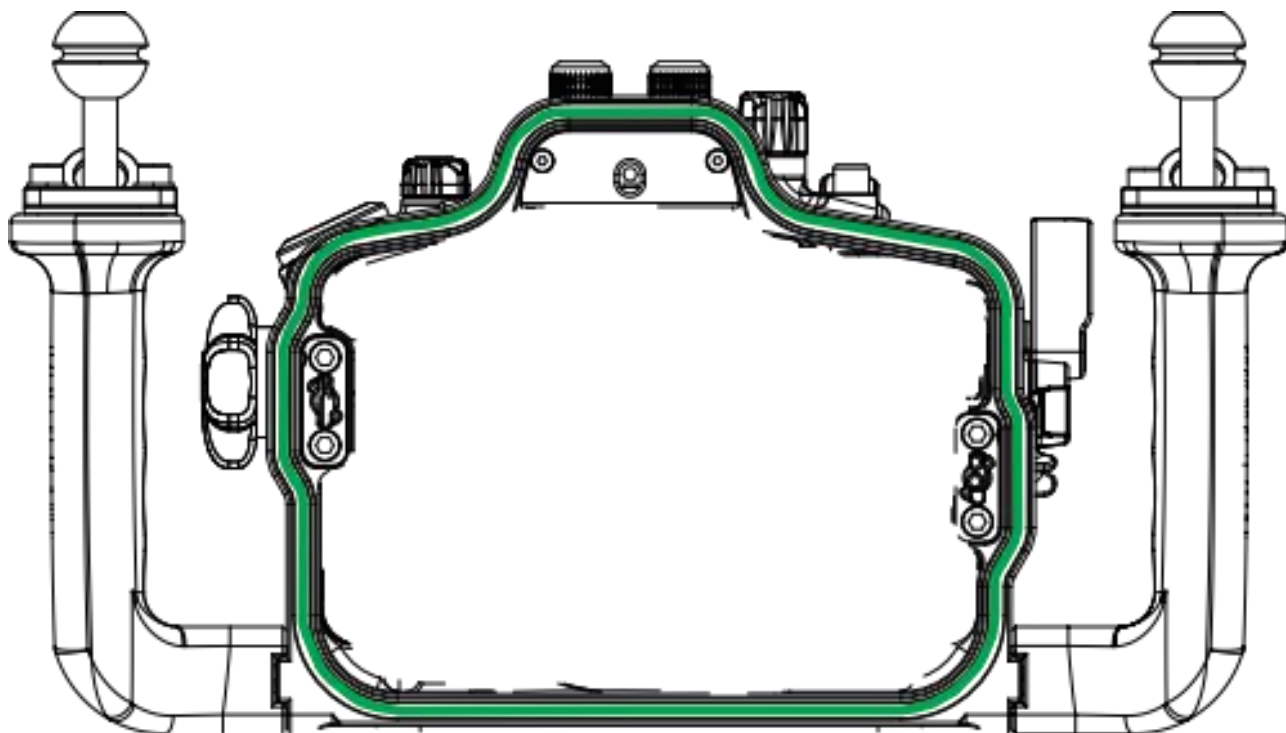
1. 指または先の鋭くない工具を使い、ハウジングからOリングを取り外します。
2. 柔らかい布でOリングとハウジングの溝を清掃し、塩分や異物が残っていないことを確認します。



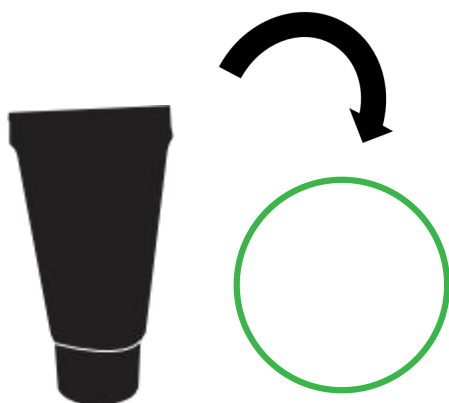
Oリングに優しくグリスを塗布します。



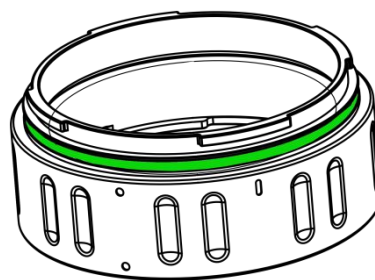
Oリングを片方の角から差し込み、溝に沿ってゆっくりと押し込みながら取り付けます。



エクステンションリングの取り付け

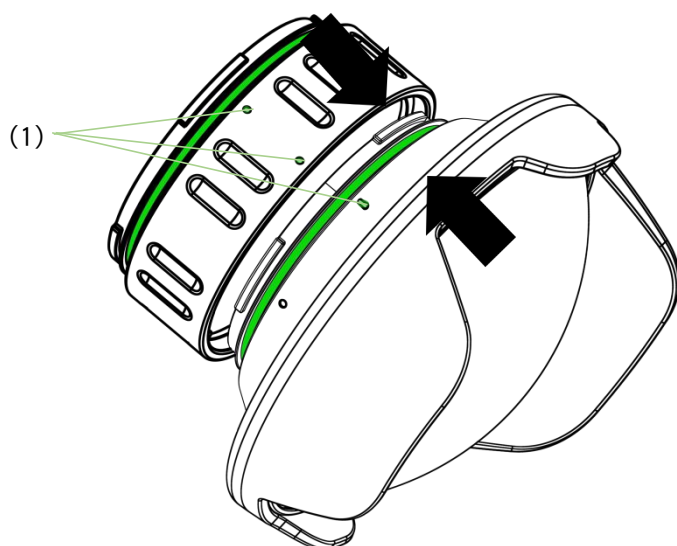
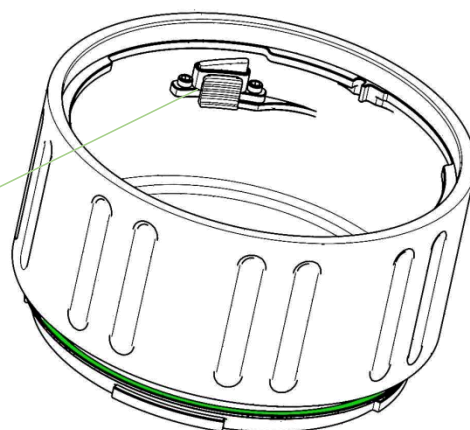


- 01 付属のグリスをOリングに優しく塗布し、シーリング溝に取り付けます。
。



- 02 エクステンションリングのセーフティロックを、膨らんだ状態にセットします。(図参照)

セーフティロック



- 03 エクステンションリングのドット印をドームポートのバー印に合わせ、しっかりと密着するまでエクステンションリングをドームポートに押し込みます。(図1参照)

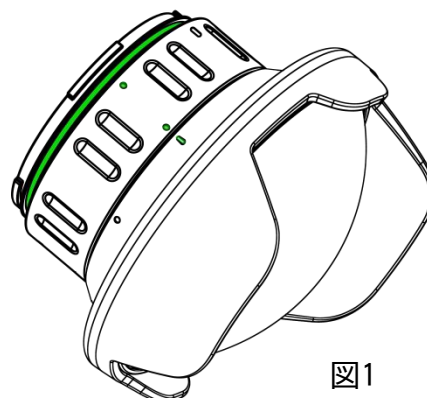


図1

- 04 エクステンションリングを反時計回りに回し、エクステンションリングのドット印がドームポートのドット印に合うまで回します。ドームポートを回して、セーフティロックがかかっていることを確認します。(図2参照)

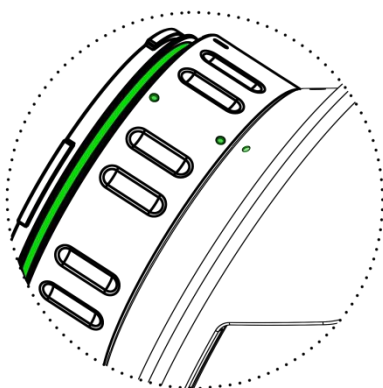
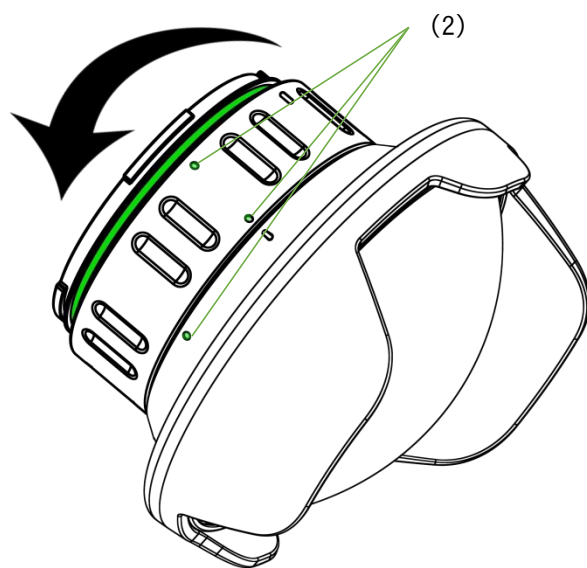
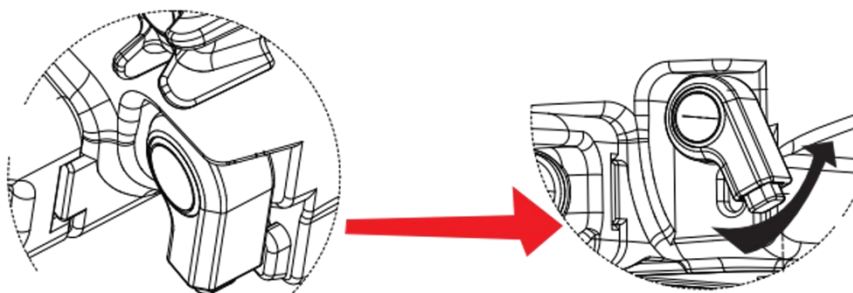


図2



- 05 エクステンションリングロックのボタンを押しながら、ノブを外側に引いてロックを開きます。



06 エクステンションリングを組み付けたドームポートを持ち、エクステンションリングのバー印をハウジングのドット印に合わせ、しっかりと密着するまでハウジングに押し込みます。(図3参照)

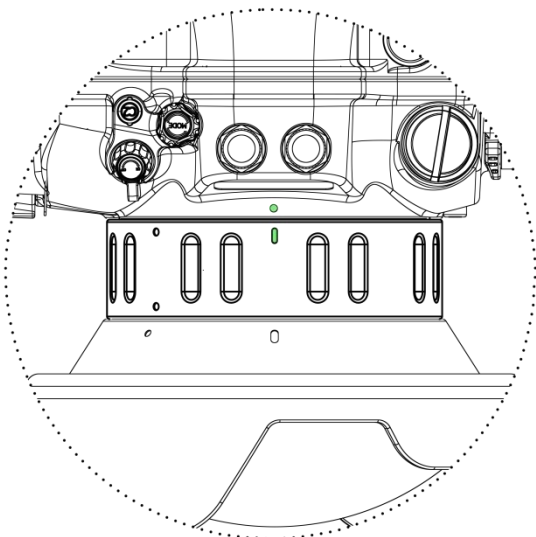
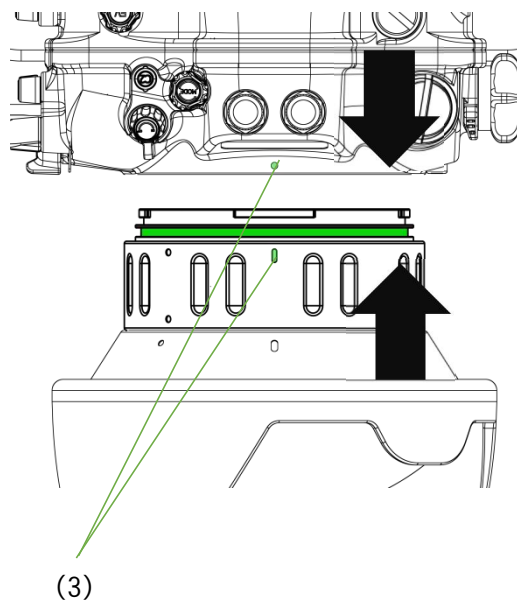
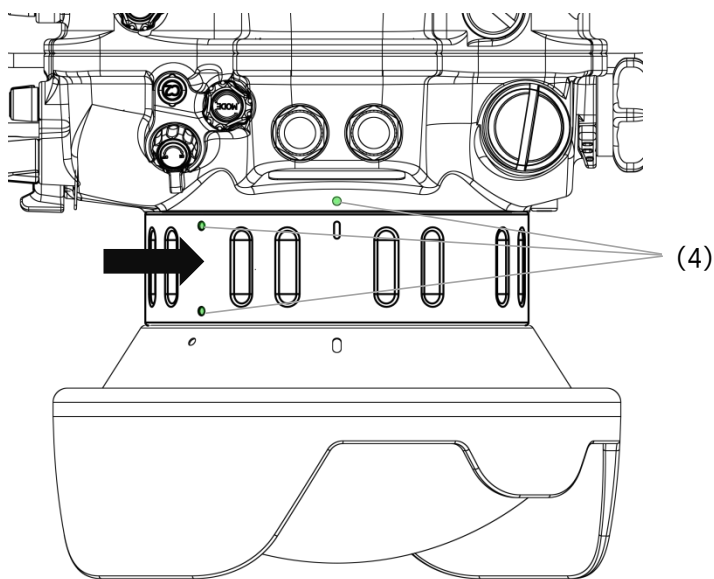


図3



(3)

07 エクステンションリングを時計回りに回し、エクステンションリングのドット印がハウジングのドット印に合うまで回します。(図4参照)



(4)

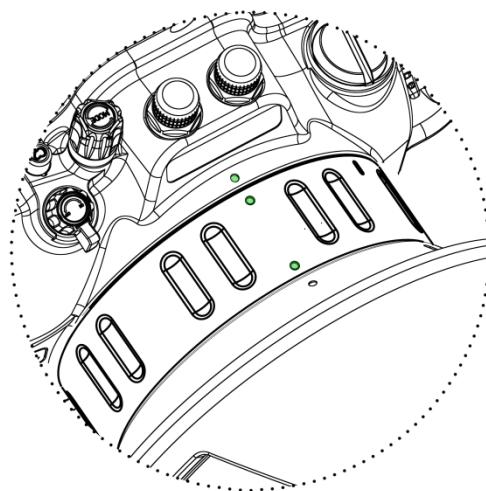
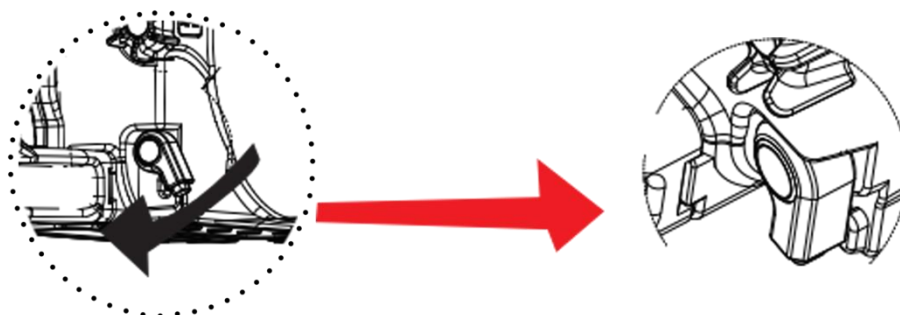
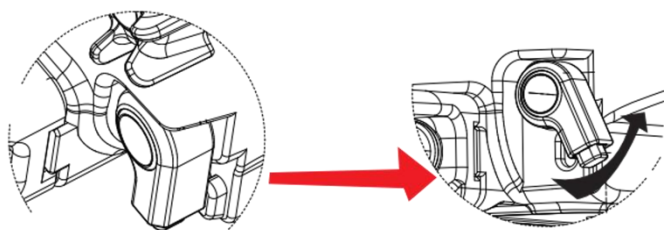


図4

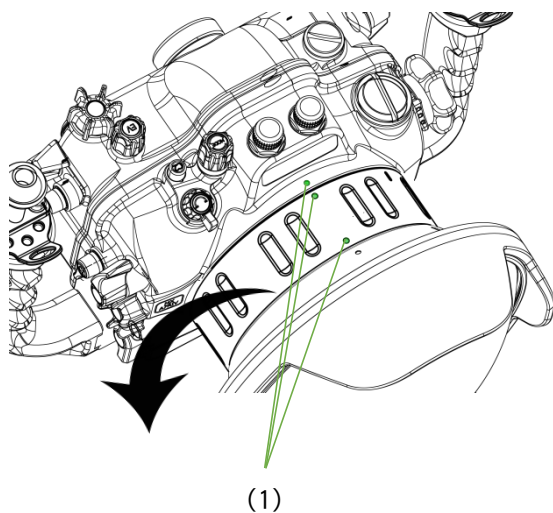
- 08 ハウジングのエクステンションリングロックを、完全にロックされるまで内側に押します。



エクステンションリングの取り外し



- 01 エクステンションリングロックのボタンを押しながら、ノブを外側に引いてロックを開きます。



- 02 エクステンションリングを反時計回りに回し、エクステンションリングのバー印がハウジングのドット印に合うまで回します。(図1参照)

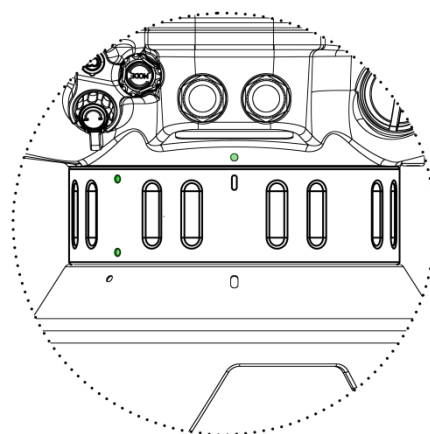
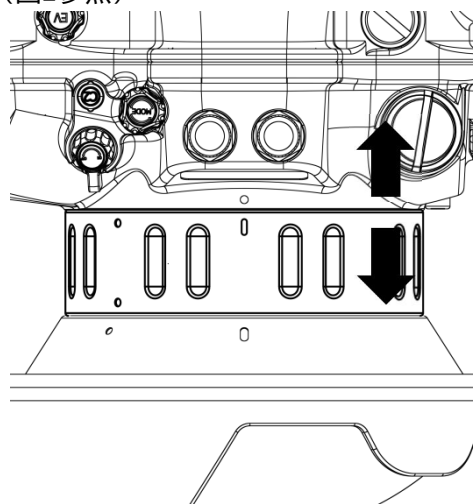
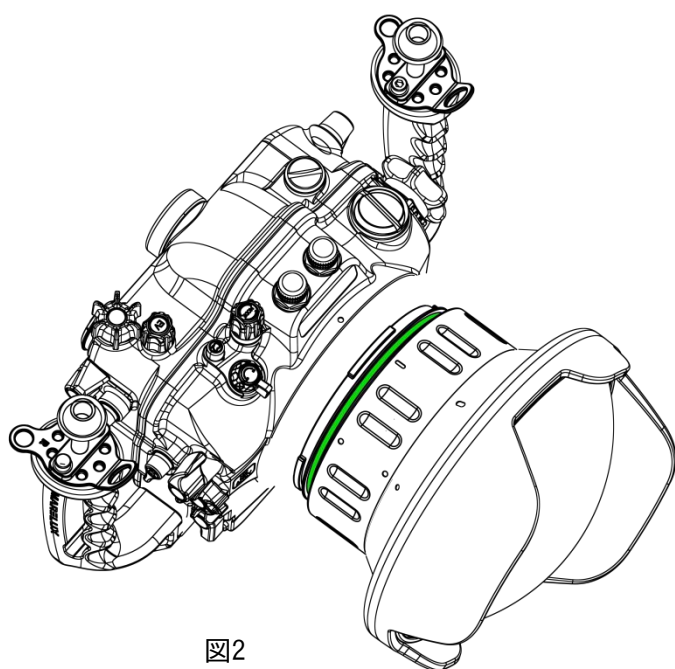
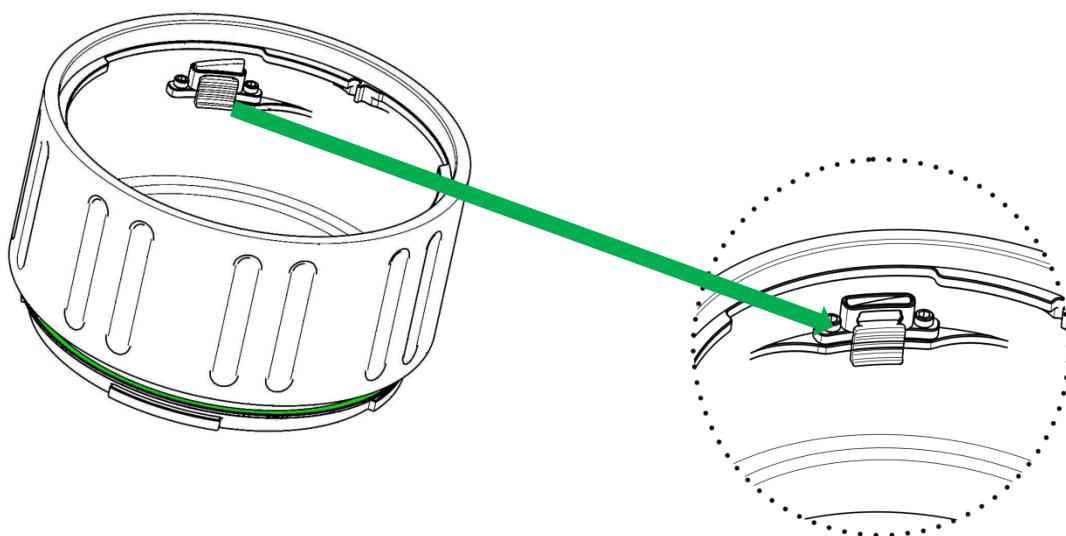


図1

- 03 図に示す方向に、ドームポートを装着したままのエクステンションリングをハウジングから取り外します。(図2参照)



04 エクステンションリング内側のセーフティロックを押し下げます。



05 エクステンションリングを時計回りに回し、エクステンションリングのドット印がドームポートのバー印に達するまで回します。(図3参照)

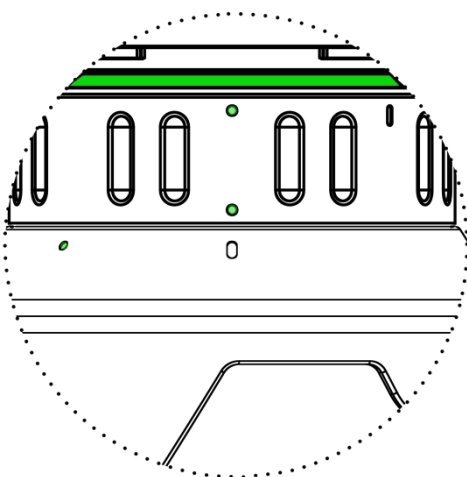
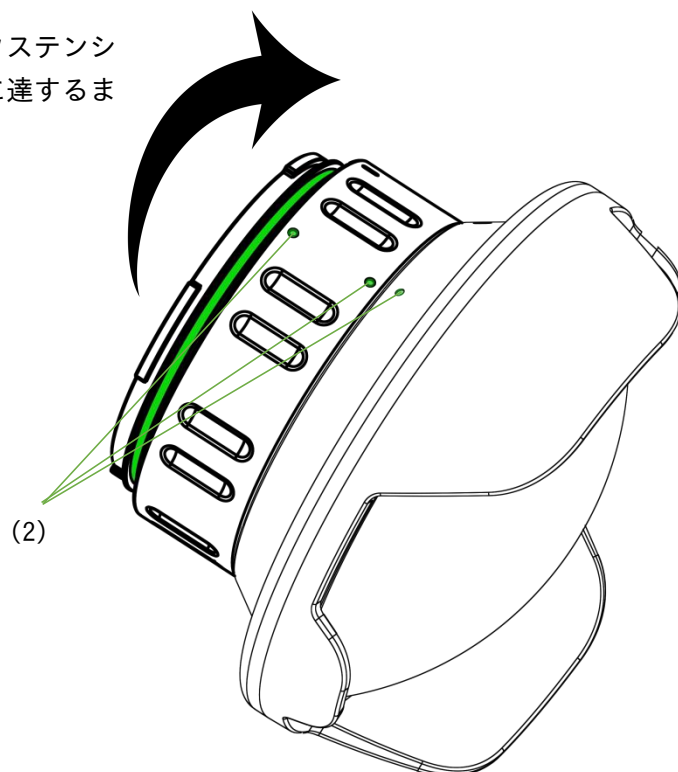


図3



06 図に示す方向に、ドームポートをエクステンションリングから取り外します。(図4参照)

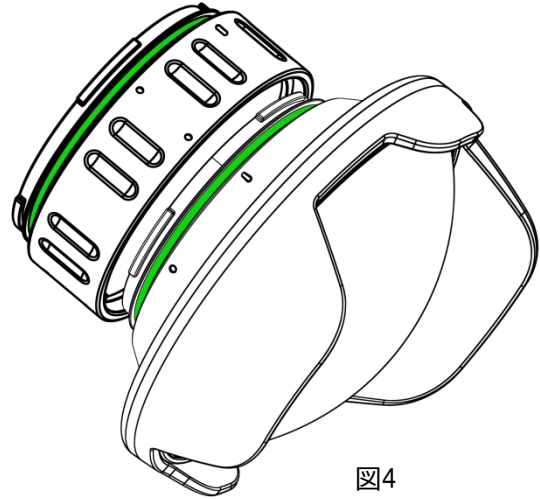
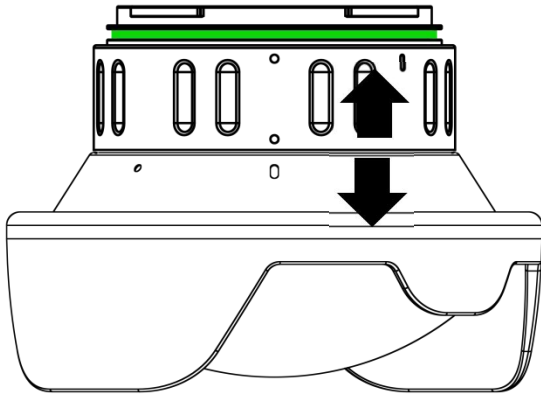
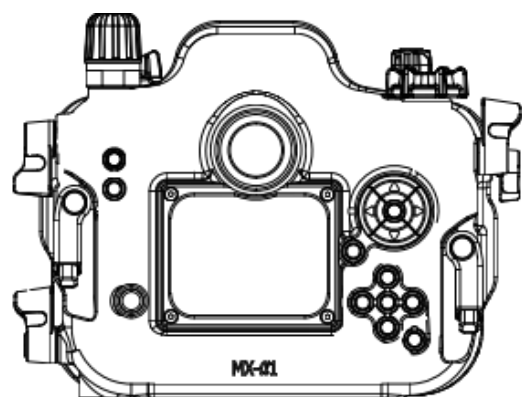
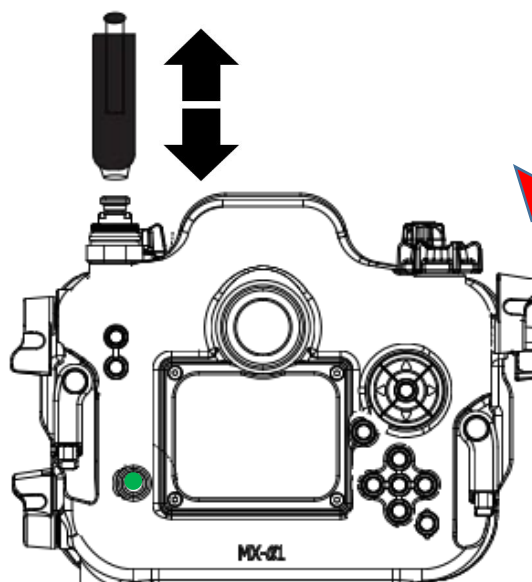
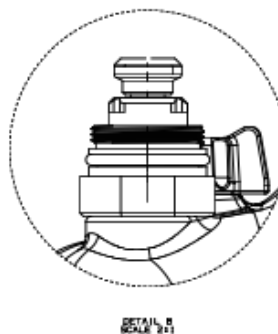


図4

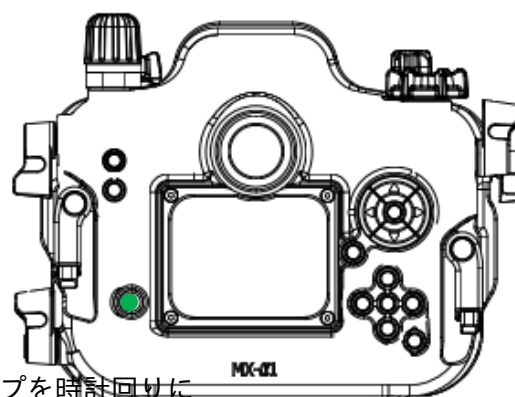
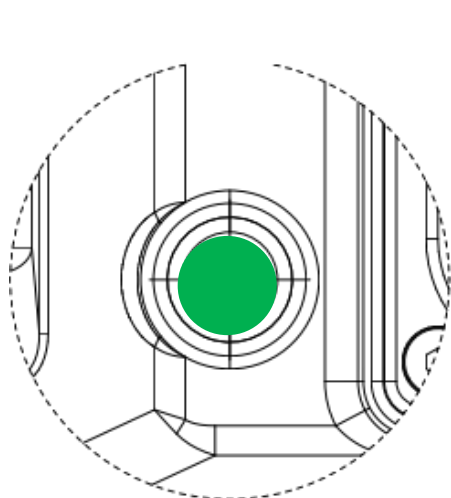
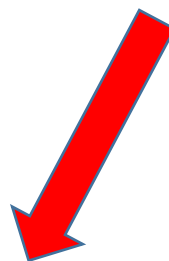
バキュームバルブの使用法



バキュームバルブのキャップを反時計回りに回して取り外します。



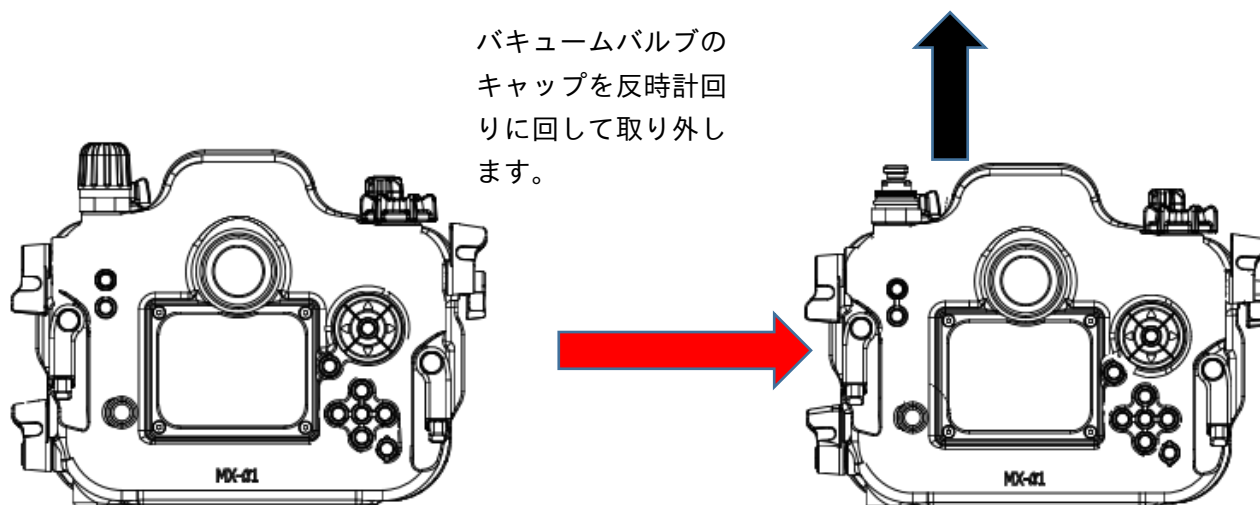
ポンプのノズルをバキュームバルブに取り付け、ポンプのハンドルを押し引きしてハウジング内の空気を抜きます。バキュームインジケーターが緑色になるまで行います。



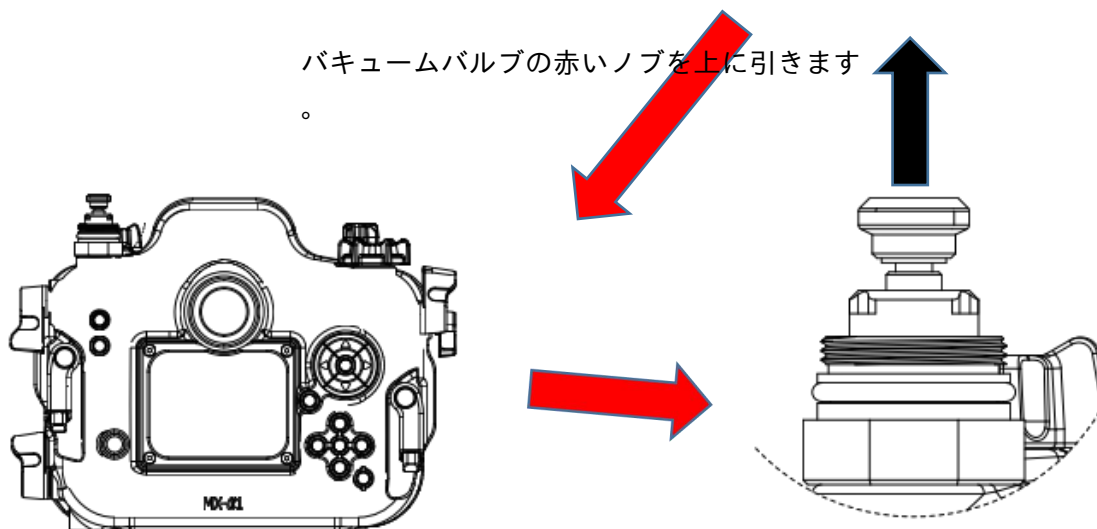
バキュームバルブのキャップを時計回りに回して、しっかり締めて取り付けます。

バキュームバルブの解除方法

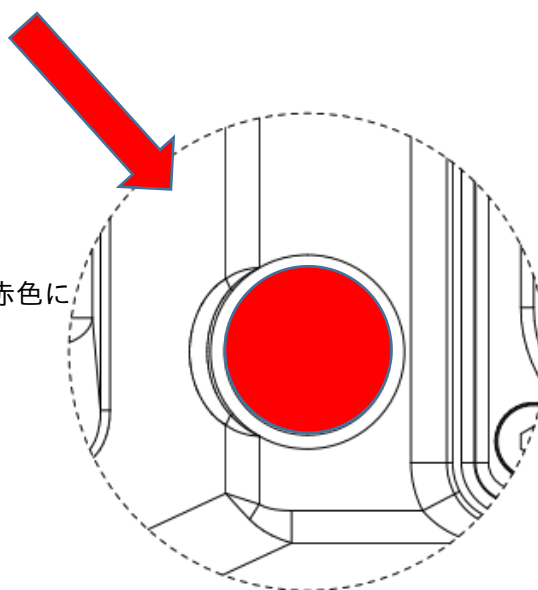
バキュームバルブの
キャップを反時計回
りに回して取り外し
ます。



バキュームバルブの赤いノブを上には引きま
す。



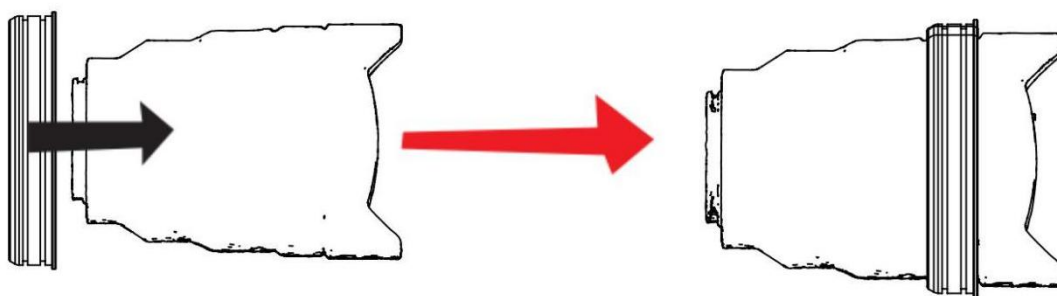
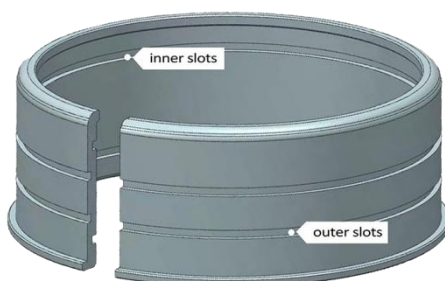
バキュームインジケーターが赤色に
なるまで行います。



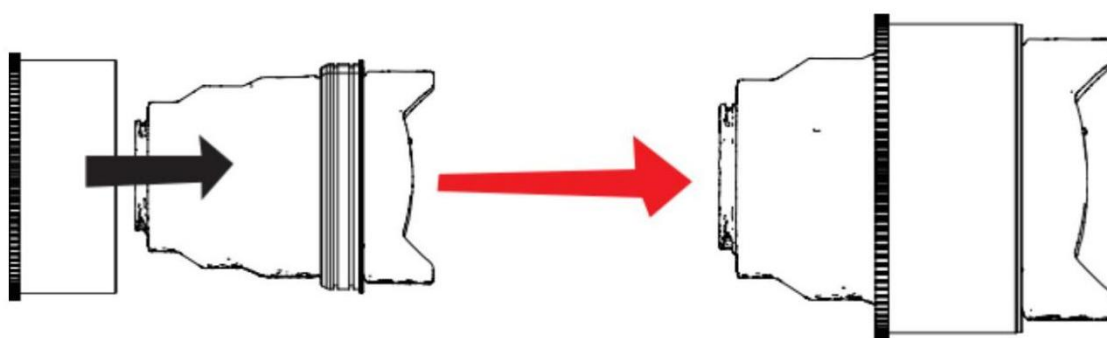
ギアの取り付け

ラバーバーの使い方

1. ギアリングの内側と外側の両方にラバーバー用のスロットがあります。各スロットに小さなラバーバーを1～2本ずつ入れてください。
2. レンズとリングの接触がきつすぎず緩すぎない状態になるまで調整してください。

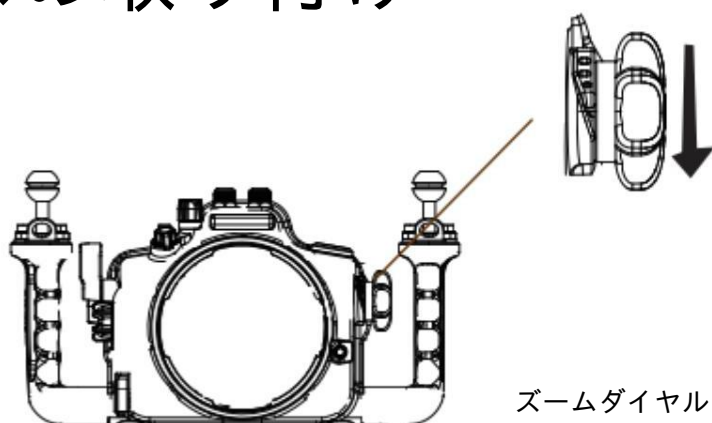


まずプラスチック製の内リングをレンズに取り付けます。

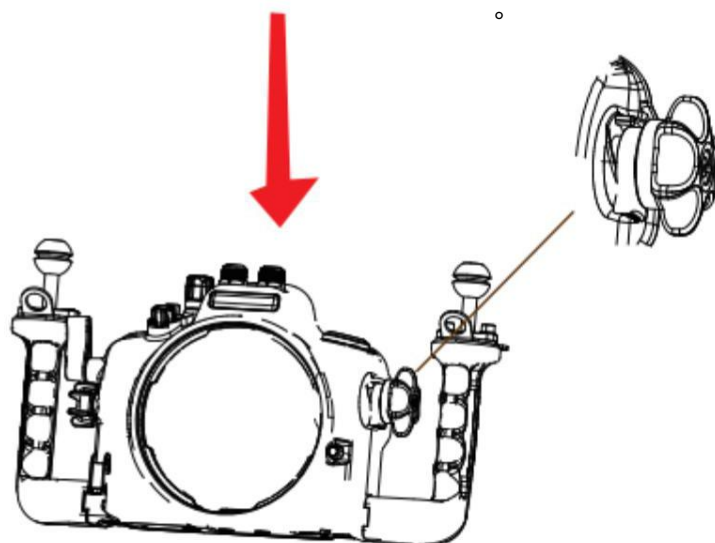


次にアルミ製の外リングを内リングにしっかり押し込みます。

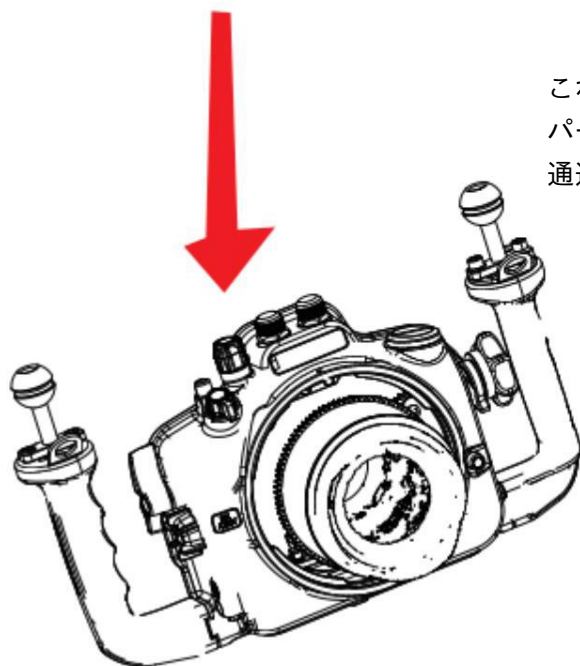
レンズの取り付け



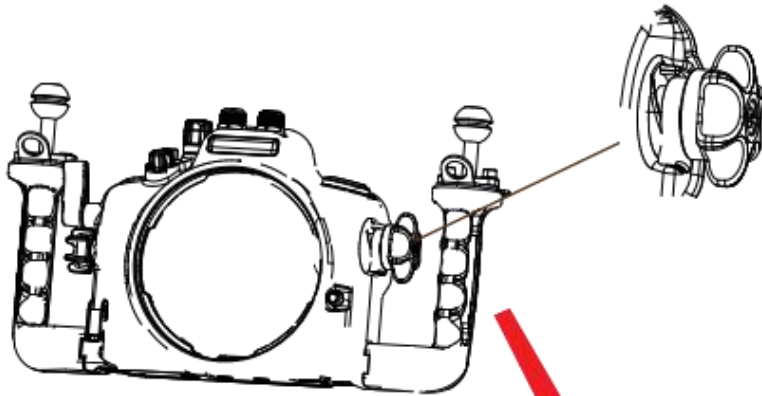
ズームダイヤルのウェッジを前方へ押します。



これにより、ズームダイヤルとハウジング内部のギアパーツが横に動き、レンズがハウジング前面ポートを通過するための十分なスペースができます。

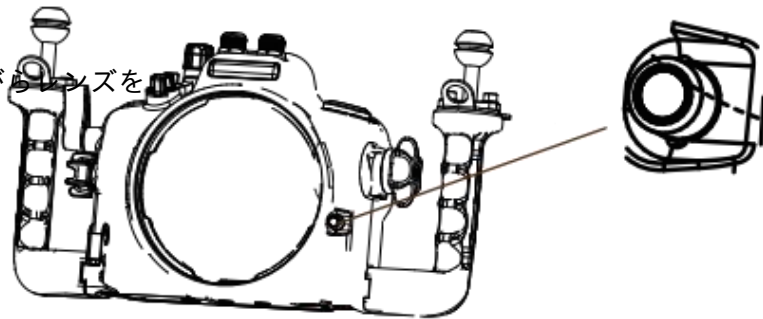


レンズの取り外し

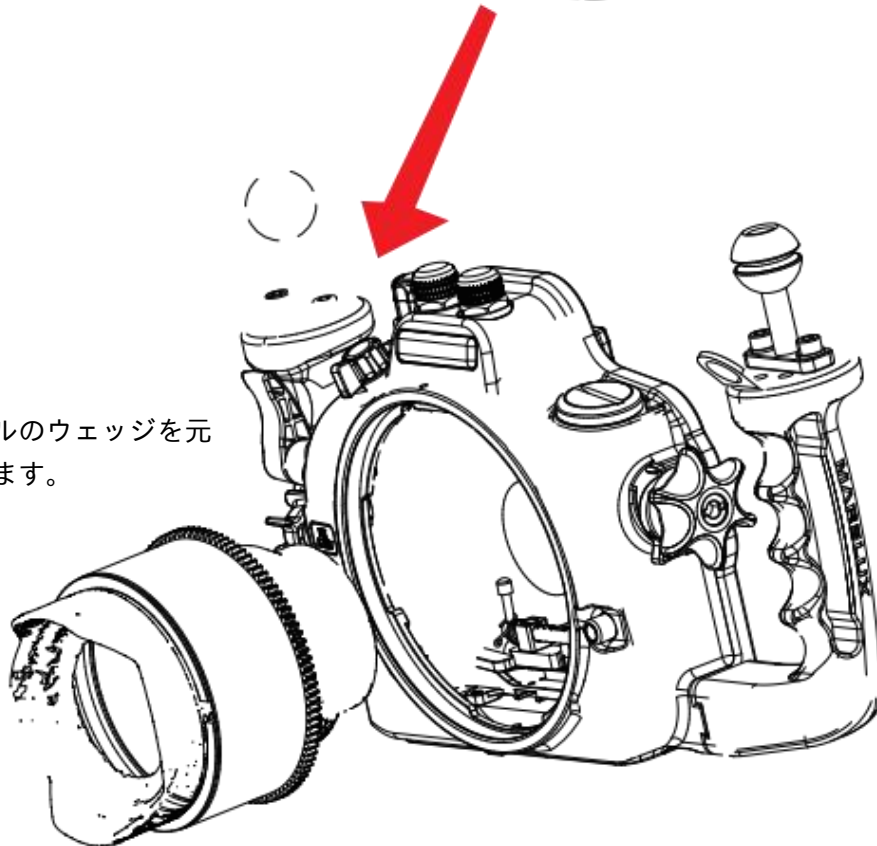


ズームダイヤルのウェッジを前方へ押します。

レンズリリースボタンを押しながらレンズを回し、カメラから取り外します。



ズームダイヤルのウェッジを元の位置に戻します。



お手入れと保管

1. 潜水後は、ハウジングがロック・密閉されていることを確認し、真水でハウジング本体を洗浄してください。
2. 真水に浸けている間、各ボタンを数回押すことで、塩分や砂を排出しやすくなります。
3. ドームポートやマクロポートのガラス面は、柔らかい布で拭いて清掃してください。
4. 潜水のたびにOリングを清掃し、傷や損傷がないか確認してください。
5. ハウジングと付属品の持ち運びには、頑丈で耐衝撃性のあるケースを使用してください。移動・輸送の際は、ハウジング内にカメラやレンズを入れたままにしないでください。
6. 直射日光や高温にさらされる車内に、ハウジングを長時間放置しないでください。
7. 長期間使用しない場合は、フラッシュトリガーと漏水アラームから電池を取り出してください。

保証

1. Mareluxは、ハウジング本体およびケーブル類(ファイバーケーブル、HDMIケーブルなど)について2年間、シリコン・ゴム・プラスチック製の電子部品については1年間の保証を提供します。
2. Mareluxは、各モデルの販売終了後5年間、修理・メンテナンス用の部品を保管します。この期間を過ぎると、修理サービスを提供できない場合があります。
3. 以下の理由による修理は、2年間の保証期間内であっても有償となります。
 - 本取扱説明書の仕様・注意事項に従わない誤使用、不適切なメンテナンスや保管による破損；
 - 落下や不適切な設置による破損；
 - Marelux非公認の業者やサービスセンターによる修理、メンテナンス、分解、改造、清掃による破損；
 - 正規のMarelux製品シリアル番号がない、または消去・改ざんされたシリアル番号の製品；
 - Marelux推奨以外の他社製アクセサリ・部品(フラッシュトリガー、ケーブル、ドームポート、エクステンションリング、コンバーターなど)の使用による破損；
 - 人為的な誤用・不適切な取り扱い、または天災その他不可抗力による破損；
 - ハウジングや付属品を清掃しなかったことによる腐食が原因の故障・破損；
4. 電池、グリス、その他の消耗品は保証の対象外です。
5. 保証サービスにおいてハウジングおよび付属品から交換された部品はすべてMareluxに帰属します。
6. Mareluxは、Marelux製品の使用に起因する付随的な損害や金銭的損失(製品利用者の収入や費用など)について、責任を負わず補償も行いません。
 - 保証は、販売代理店の正規サービス提供地域内で販売された製品に限り適用されます。
 - レンタル事業目的で購入・使用された製品は保証の対象外です。
 - 無許可の修理や改造が行われた場合、保証は直ちに無効となります。
 - 上記の保証条件は、Marelux製品ユーザーが無償で保証サービス・修理を受けられるようにするためのものであり、お客様が有する法的権利を制限するものではありません。